

# 目次

まえがき	1
なぜ「消費生活」を学ぶのか	5

## 第1章 社会を支える消費者

第1節 消費生活の役割	7
第1 消費者・消費生活の意味	7
第2 消費者が経済社会で果たす役割	7
第2節 生涯の計画と管理	9
第1 生涯設計	9
第2 生涯学習	10
第3節 社会の変化と消費生活の変化	10
第1 消費者問題の存在に気付く	10
第2 高度経済成長のひずみ	13
第3 第一次オイルショックとその影響	15
第4 豊かさのひずみ	16
第5 国際協調と消費生活	18
第6 自然環境の保全と消費生活	19
第7 21世紀の食への不安	20
第8 消費者行政の転換	22

## 第2章 消費者被害と消費者の権利・責任

第1節 消費者が受ける不当な不利益	24
第1 消費者が受ける不当な不利益とは	24
第2 消費者が不当な不利益を受ける理由	24
第3 消費者が受ける不当な不利益の意味	26
第4 消費者の社会に対する責任	27
第2節 消費者の権利確立の方策	29
第1 消費者運動	29
第2 消費者行政	31

## 第3章 消費生活の安全と自由

第1節 消費生活の安全の確保	34
第1 消費者が受けている危害の状況	34
第2 安全な生活の条件	36
第3 安全な消費生活と消費者行政	37
第2節 消費生活の自由の確保	48
第1 生活の自由の条件	48
第2 公正かつ自由な競争を確保するための方策	49
第3節 信頼できる情報の確保	55
第1 消費者の意思決定と情報	55
第2 情報の役割	56
第3 消費者が利用できる主な情報と信頼性の確保	58
第4 行政やマスコミが提供する情報	60
第5 信頼できる適正な情報を確保するための施策	62

## 第4章 消費者の自立支援

第1節 支援の必要性	78
第1 消費者行政の必要性	78
第2 被害救済に対する支援	78
第3 学習への支援	85
第2節 事業者からの支援	86
第1 消費者の問い合わせ、苦情等に対応する意味	86

## 第5章 環境と消費者

第1節	豊かさや環境問題との関係	89
第2節	消費生活が及ぼす環境への影響	91
第1	家庭部門のエネルギー消費の動向	91
第2	用途の違いから見た 家庭用エネルギー消費	92
第3	暮らしを見直しエネルギー消費 の関係について知る	93
第4	家電製品などのエネルギー効率改善 に向けた取り組みと課題	95
第5	エネルギー消費と地球温暖化	96
第3節	環境と消費者	98
第1	日常生活からの環境への負荷	98
第2	私たちは破壊者か	100
第3	持続不可能な資源消費	101
第4節	環境問題と商品サービスの 選択と利用	101
第1	環境への負荷を少なくする生活	101
第2	持続可能な社会を求めて	102
第3	環境負荷の少ない商品・ サービスの選択	103
第4	環境重視へのシフト	106
第5	グリーン・ウォッシュ	107
第5節	持続可能なライフスタイル	107

## 第6章 消費者契約と法

第1節	生活の中の契約	110
第1	りんご1個買うのも契約	110
第2	現代の生活は契約の連続	110
第2節	契約と責任	111
第1	契約とは何か	111
第2	契約の成立と拘束力	113
第3	判断力と責任	113

第3節	複雑・多様化する販売方法 と悪質商法	115
第1	多様化する販売方法	115
第2	悪質商法	116
第4節	消費者取引と関連法	118
第1	民事ルールと規制法	118
第2	消費者取引全体のルール としての消費者契約法	119
第3	特定商取引法	120
第4	クーリング・オフ制度	128
第5	サービスと関連規制法	132
第5節	電子商取引と消費生活	133
第1	複雑化する電子商取引	133
第6節	多様化する支払い方法 と資金調達	135
第1	多様化する支払い方法	135
第2	消費者信用	135
第3	販売信用	136
第4	消費者金融	139
第5	多重債務と債務整理	140
第6	電子マネー等多様化する代金決済	141
第7	消費行動と金銭管理	142
第7節	グローバル化と消費生活	143

消費者問題・消費者行政年表	145
さくいん	150